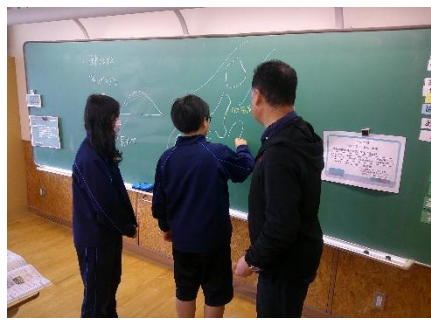




かがやき学級の授業で、担任の先生から「掃除のときに使う“ぞうきん”がない」というメッセージを受けて、家庭科の授業で”ぞうきん作り“をすることになりました。生徒は、自分の好きな色のタオルや糸を選んだ後、針の穴に糸を通すことになりましたが…悪戦苦闘のぞうきん作りが始まりました。



ふれあい学級1組の家庭科の授業では、「生鮮食品」と「加工食品」について勉強していました。ある生徒が、お寿司屋さんのメニューを見て考えているのとすると生徒が集まって「生鮮か加工か」について話し合いが始まりました。生徒の生活に身近なことを題材にすると生徒の学習意欲が高まります。



ふれあい学級2組の社会の授業です。先生が生徒と対話をしながら授業を進めていると生徒同士が関わり合い始めました。学んだことをノートに取る生徒もいれば、タブレットにまとめる生徒もいたて、ひとり一人自分なりのやり方で学習を進めていました。

